

九月に入り、次々に台風がやってくる。例年のことだが台風 성격が変わってきたような気がする。昔の台風は「台風一過の晴天」というように、疾風迅雷、くるのも早く去るのも早かった。最近の台風はグズグズと行ったり来たり、のろのろと去ってゆく。

- 豪雨飲み酒匂の流れ褐色に膨れ上がりて海を目指せり
我が家は酒匂川に近い。時には越水するばかりに堤防の際まで増水する事がある。ただ、海まで三キロ程度なので大丈夫だろうと思っている
- 嵐まつクロサギの群れひたすらに声を殺して並び居るなり
酒匂川をわたる高圧電線に数十羽のクロサギがいつも屯ろしている。台風が近付き強風が吹いているにも関わらず黙って止まっているのを見ると、国の危機が迫っている今、声をあげずにいるわが国の大衆を思い起こしてしまふ。
- 聴く耳を持てりと言いし人ありき身を焼き抗う声は届かず
国葬に反対すると主張して焼身自殺を図った人がいた。だが、国葬は行われるだろう。宰相の耳は口バの耳であるに違いない。あるいはエバの國からの声しか聞こえないのか。
- 七十年国に尽くして逝きし人稀有なる徳と誠意に感服
植民地の後始末、アイルランドとの宥和、などの国事だけでなく王室内の揉め事も数多くあった。心安らかに過ごせた時間はどれほどあったのだろうか。
- 八年を尽くして残す悪名は不実・借財・法の無視なり
国会で嘘の答弁を並べ、一千兆円を超える借金を作り、国会を無視して閣議決定のゴリ押しを続けた人の国葬がなせられるのか。
- 傾ける国の未来を案じつつのこる寿命を数える我かな
愚痴に過ぎないが、言わずにはいられない、